

査読ポリシー

沖縄県理学療法学術大会に応募された演題は以下の査読ポリシーの下に査読されます。

- 応募演題への査読者割り当て応募演題1題につき原則3名の査読者が査読します。
- 査読者が演者（筆頭、共同含む）になっている演題と査読者の所属施設から応募された演題は、当該査読者に割り当てません。

1. 「演題名とキーワードが適切か」

演題名：適切な長さで、発表の核心部分を的確に説明できているか

キーワード：発表のトピックとして適切か。理学療法あるいはリハビリテーション関連用語を用いてキーワードが選定されているか。

2. 「はじめに、目的が適切か」

背景から目的までが科学的根拠に基づき論理的に構成されているか。

3. 「方法（または症例紹介）が適切か」

妥当性を判断するに必要な情報が記載されているか（統計を含め妥当か）。記載の順序が適切か。

4. 「結果（または経過）が適切か」

客観的数値で示されているか。提示順序が適切か。目的が結果に反映されているか。

5. 「考察が妥当か」

論理の飛躍がないか。

客観的数値や先行研究結果に基づいて議論されているか。

6. 「倫理的配慮、説明と同意が適切か」

何（誰）を対象とするのか、データをどのように管理するのか記載があるか（倫理的な欠陥がない）。演者所属機関の倫理委員会で承認された研究である場合は、その旨と承認番号を抄録中に記載してください。

7. 「今回の目的や結果が独創性、新規性があるか」

独創性、新規性がどこにあるのか、先行研究と比較しながら明瞭されているか。

8. 「今回の結果が理学療法の発展に寄与するか」

結果がどのように理学療法（またはリハビリテーション）に貢献できるか記載があるか。